

放課後等デイサービス 子どもクラブ
令和3年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 公表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制設備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令に従ったスペースは確保しているが、保護者からもっと広い方が嬉しいといった意見は出てきている。スペースを広げる事への対応は現段階で難しいが(引越しなど)、より多くの意見が出た場合、検討を行う必要があると考えている(継続事項)
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人員配置基準を満たす配置を行うだけでなく、子どもの人数に適したスタッフ配置を行うようにしていく(継続事項)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	段差や手すり等、バリアフリーへの配慮が不十分な面は見られる為、対応出来る箇所から改善を行っていき、利用者への配慮もしっかりと行っていく(継続事項)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		コロナ禍の影響もあり、今年度は十分なスタッフミーティングを行えなかったり、参加者が集まらなかった事があった。パソコンを用いてのミーティングなど集まる事が出来ない場合でも参加できる等、環境を整えていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケート調査や、普段の意見交換等を踏まえ支援や環境整備に関して対応を行っているが、対応しきれていない箇所もある為、出来るだけ対応し反映していくようにしたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果をホームページにて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在第三者による外部評価は受けていない。必要に応じ検討していく(継続事項)
	8	職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか			○	他の業務の兼ね合いや今年度に関してはコロナの影響もあり、機会を確保する事が難しかった。状況が落ち着いたら機会を確保できるようにしていきたい。
適切な 支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			今年度はコロナ禍の影響により十分に面談は出来なかったが、連絡帳や送迎時でのやり取り、電話等で情報共有や課題の確認などを行い、利用者の様子を把握し計画に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートなどは標準化されたものを使用し、支援計画への材料として活用している(継続事項)
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		コロナ禍の影響もあり、活動プログラムが制限されてしまった。(カリキュラムは状況が落ち着くまで中止とした)制限なく活動が出来る状況になったら様々な立案を行いたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			コロナ禍によりカリキュラム活動は中止しており、活動内容が制限的になってしまったが、その中で出来る活動を工夫して対応を行った。状況が落ち着いたらより固定化しないように努めていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用者の様子や状況を見て、楽しく過ごせる様に努めている(継続事項)
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			各利用者の様子や特性等を考慮して対応を行い、計画に繋げている(継続事項)

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に朝礼を行い、情報共有や確認を行っているが時折充分に行えない時もある為、申し送りノートや事前に知らせる等工夫している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			他の業務の兼ね合いで、次の業務に向かわなければならず振り返りを行えない事がある為、申し送りノートや必要に応じ連絡を行う等工夫を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供記録とは別に、各利用者に関して日々の様子の特記事項で記入するノートを分け記入しており、より細かくすぐに支援に反映できる様工夫している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度個別支援計画書を作成している。また、日々の連絡帳や送迎時の申し送りを通じて支援への見直しや改善を図っている(継続事項)
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			ガイドラインを徐々に整理してきており、その内容に則って活動に反映させている。より様々なケースのガイドラインを策定していきたい
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議があった場合出来るだけ管理者や児童発達支援管理責任者が参加するようにしている(継続事項)
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校と家庭と連携を行い、多角的に対応するように努めている(継続事項)
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在医療的ケアを必要としている子どもの受け入れは行っていない。既存利用者に関しては主治医の聞き取りを行っていたり、てんかん発作や服薬の有無など障害や病気に対しての対応等把握している(継続事項)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		今年度に関しては就学前の施設、事業所等の関りも増えてきており、随時連絡対応や利用者の紹介がある。機会を増やしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			他の制度についての説明を卒業する利用者に対しては随時説明しており、必要に応じての対応を行っている(継続事項)
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今年度はコロナ禍の影響もあり、そのような機会が設けられなかった。今後は出来るだけ取り組んでいきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか			○	コロナの影響で地域のお祭りといった催しが中止になる等、殆ど機会が設けられなかった。状況が落ち着いたら少しずつ機会を持てる様にしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		地域の商店街会議など、参加できる時は参加を行った。イベント等が行われた際など積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の連絡帳や、送迎時の申し送り、電話連絡やメールのやり取り等を行い、常に密に情報共有、共通理解を持てるように努めている(継続事項)
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			随時保護者に対しての相談は受けており、出来る限りの対応を行っている。

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っており、更新時に変更があった際は再度説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際は、出来るだけの誠意を持って対応・支援を行っているよう努めている(継続事項)
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在父母の会に関しては開催していない。多くの要望があった場合開催を検討したいと考えている(継続事項)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			責任者を設け、誠意を持って対応している様努めている。不備が無いよう、マニュアルやガイドラインを整備、拡充していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	定期的な会報は現在発行していないが、月ごとのお知らせやイベントの紹介は行っている。要望があれば個人情報の観点から十分注意し、検討していきたい(継続事項)
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付書庫や事務室に鍵を付ける等対応は行っており、今後も十分に注意していきたい(継続事項)
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			各利用者の特性を配慮して支援している。子どもに関しては成長するに従い変化が見られるので、随時本人にとって良い対応が出来るよう意識している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍の影響により今年度は機会を設ける事が出来なかった。状況が落ち着いたら機会が持ていける様検討を行っていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルやガイドラインに関しては整備を行っており、配布する流れを取っているが、周知徹底に関しては不十分な面もある為、今後は整備と周知徹底をより行っていくようにしたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	利用者と一緒に消防署に見学に行く等、利用者を交えて防災に関わったり訓練を行えるようにしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	朝礼やミーティング、または張り紙を通じて意識してもらおうとしているが、研修に関しては機会が設けられていない。今後行えるようにしていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	基本的に身体拘束は行っていない。保護者との面談や連絡帳でのやり取り、送迎時の申し送り等で情報を共有し、常に必要とする支援を行える様に努めている。今後必要となる場合は適切な手順を踏み決定していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書や保護者からの聞き取りを通じてリストを作成し、注意して対応を行っている。スタッフ全員にも周知するようにしている。命に関わる内容なので今後もしっかりと徹底していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットが発生した際は、報告書を作成したのち職員・スタッフ全員が情報共有出来るようにし、対策等を話すようにしている。